

まちの話題・市民の活躍

11/27

世界でのさらなる活躍を！

11月に開催されたドバイ2019世界パラ陸上競技選手権大会において、車いす(T52)の1500mで銀メダル、400mで4位入賞を果たした上与那原寛和選手への沖縄市スポーツ国際大会等出場奨励金の贈呈を市役所で行いました。後援会の眞島長治会長等とともに来庁した上与那原選手から、県勢では第1号となる東京パラリンピック代表内定も報告されました。



11/25

全国大会上位入賞を報告

喜友名龍鳳館の喜友名龍館長と選手の皆さんが市役所を訪れ、第57回全国空手道選手権大会での入賞を比嘉教育長へ報告しました。

入賞したのは、山内小学校1年の島袋かなささん、兼原小学校2年の瑞慶山千寿さん、高原小学校4年の宮林和さん、コザ小学校5年の屋比久賢人さんで、一人ひとりが入賞の喜びと来年の目標を力強く話しました。



11/20

コザ中躍進 スポーツで全国へ

コザ中学校の島村一司校長等が、比嘉教育長に大会出場の報告をしようと市役所を訪れました。1年生の玉城悠さんが総合競技の第3回全日本ジュニア修斗選手権大会の44kg以下級で優勝、女子駅伝チームが中学駅伝の県大会で大会記録を更新しての2連覇を報告しました。駅伝チームは、11月30日の九州競走大会で県勢初の6位入賞を果たしました。



11/26

文武両道のコザ高校 九州一に輝く

コザ高等学校女子ソフトボール部と男子空手道部の部員等が市役所を訪れ、九州大会で優勝したこと等を桑江市長に報告しました。

女子ソフトボール部は、第14回全九州高等学校男女ソフトボール秋季大会で初優勝、男子空手道部は、第39回全九州高等学校空手道新人大会兼第38回全国高等学校空手道選抜大会予選会で、団体形で2連覇、個人形で新城志さんが2連覇を果たしました。



今シーズンの成績をファンに報告

2019シーズン、熱い戦いをみせてくれたFC琉球の選手や監督、スタッフ等が11月26日に市役所を訪れ、シーズン終了報告会を行いました。

今年は、初のJ2のステージにおいて42試合を戦い、30試合ホーム無敗のJリーグ記録更新など、サポーターに感動を与えてくれました。

また、11月30日にはファン交流会をコザしんきんドームで開催。選手によるコント披露、ミニ運動会、フットサル対決、記念撮影、サイン会など、800人のファンが駆けつけ、選手との交流を楽しみました。



まちの話題・市民の活躍

11/21 母子の健やかな育ちを支え続けて

平成11年度から母子保健推進員として活動している沖縄市母子保健推進員協議会の副会長の平田美砂子氏が、11月に千葉県で開催された健やか親子21全国大会において、公益社団法人母子保健推進会議会長表彰を受賞されました。

母子保健事業やこどもの健やかな成長に寄与する活動に功績のあった個人や団体を表彰するもので、與那嶺副市長へ受賞の報告を行いました。



11/25 「さんご通信」で県知事賞

山内小学校6年の山内英紗さん等が市役所を訪れ、第14回琉球新報学校新聞コンクール・第21回沖縄県中学校社会科新聞コンクールの壁新聞の部で県知事賞を受賞したことを比嘉教育長へ報告しました。

新聞製作を通して課題を追及する力や表現力等を育もうと行っているコンクールで、山内さんがさんごの現状等についてまとめた「さんご通信」が2785点の応募の中から選ばれました。



12/3 世界が認めた極上品 コザにあり

市中央にある自家製ハム・ソーセージ専門店TESIOの嶺井大地代表が、食肉業界最大の国際見本市の日本大会として千葉県で初開催された第1回IFFA日本食肉加工コンテスト2019で、金賞・銀賞を受賞したことを桑江市長等に報告しました。

嶺井代表は「地元の食肉を使った商品3品を出品し、2品が金賞、1品が銀賞を頂けた」等と喜びを語りました。



11/27 「ドリムスタディドリル」小学3年生全員へ

琉球ゴールデンキングスのホームタウン活動の一つ、今回で3回目となる市内小学3年生へのドリムスタディドリルの贈呈式が市役所で行われました。

琉球ゴールデンキングスの木村達郎代表取締役と田代直希選手から、桑江市長と比嘉教育長へ1,674冊のドリルが贈呈されました。田代選手は「学ぶことが楽しいと感じてもらえたらうれしい」と話しました。



凛々しい仁王像に優しい願いを込めて

市美里の株式会社仲本工業は、創立55周年の記念事業の一環として、市山里にあるコザ山仁王院球陽寺に2体の仁王像（阿形像・吽形像）を奉納しました。

中国福建省で作られた仁王像の高さは、約2.4m。仲本工業の仲本豊社長は「我々の仕事は、常に危険と背中合わせ。家族や社員の無病息災等を祈願し、お世話になっている球陽寺に奉納した」と思いを語りました。



11/19 古謝の神獅子 完成間近

65年ぶりに新調が進められている古謝自治会の神獅子の頭が完成し、自治会へ届けられました。

新しい獅子頭は、沖縄県指定無形文化財琉球漆器保持者で株式会社漆芸工房代表取締役の諸見由則氏が制作したもので、胴体部分の衣装は、区民が手作業で制作を進めています。

神獅子新調委員会を中心に取組を進め、3月には入魂式を行う予定です。



まちの話題・市民の活躍

11/16

善行生徒は全校生徒のかがみ

優秀な児童生徒を表彰することで善行活動の普及を図り、健全な児童・生徒を育成することを目的に、令和元年度善行児童生徒表彰式（沖縄県退職校長会主催）が、沖縄市産業交流センターで行われました。

本市からは、自然と文化財愛護活動により室川小学校6年の屋宜琉正さんと社会福祉ボランティア活動により山内中学校3年の久場彩叶さんが表彰されました。



11/19

とびきりやさしい作文の表彰式

令和元年度沖縄市児童生徒作文コンクール表彰式（沖縄市民憲章推進協議会主催）が、市役所で行われました。

関係者、保護者が見守る中、「小さな親切運動」をテーマに作文を書いた小学生12人にハイビスカス賞、23人に優秀賞が、「福祉体験」をテーマに作文を書いた中学生5人にゆいまる賞、18人に優秀賞が贈られました。



12/6

掴み取った優勝

市内のダンススクールFLOWの宮城皇児代表と中学生チーム「FUNKYUSIXERS」の頂伊万里さん（安慶田中学校2年）と比嘉稟華さん（安慶田中学校2年）、佐久間桃子さん（コザ中学校1年）等が市役所を訪れ、11月3日に行われた全国キッズダンスコンテスト「STARZキッズダンスコンテスト」で、優勝したことを桑江市長に報告しました。



12/5

県選抜で全国大会へ

美東中学校3年生の喜納俊介さんと宮里中学校3年生の富田妃南さんが、第33回全国都道府県対抗中学バレーボール大会の沖縄選抜チームに選出されたことを報告するため、市役所を訪れました。

沖縄選抜チームには、県内各地から男女各14人が選ばれており、「チーム一丸となって頑張る」等と話す二人に、桑江市長等から激励の言葉がかけられました。



息が苦しくなる病気 COPD（シーオーピーディ）



【病名】COPD（慢性閉塞性呼吸器疾患）

【病気】長い年月をかけてゆっくりと呼吸機能が低下し、放置すると重症化して呼吸困難になります。

【原因】原因の90%以上がタバコです。※電子タバコもリスクは変わりません。

【予防】禁煙

【症状】咳や痰、息切れなどが起こります。風邪が治りにくく、息をするたびにゼーゼー、ヒューヒューして息苦しくなります。

2014年の厚生労働省患者調査によると、国内における40歳以上のCOPD患者数はおよそ530万人と推定されていますが、医療機関で治療に結びついている患者数は約26万人（5%未満）にすぎません。20年以上かけてゆっくり呼吸障害が進み、放置すると呼吸困難に至る怖い病気です。しかし、どの段階からでも、進行を抑える治療を始めることで、健康状態の悪化や日常生活上の支障を防ぐことができます。まずは禁煙して、検査を受けてみましょう！

市民健康課（内線2243）

まちの話題・市民の活躍

11/22

祝 団体賞、農水大臣賞受賞

10月11日に行われた県内の優れた家畜を一堂に集め、毛並みや体のバランス等から飼養管理や品種改良の成果を競う品評会である第45回沖縄県畜産共進会種畜部門乳用牛の部の受賞農家や関係者が、市役所を訪れました。

本市が2度目の団体賞を受賞したこと、株式会社高宮城牧場が、農林水産大臣賞を受賞したことを仲本副市長に報告しました。



12/2

すくすく育てた野菜で

J A おきなわ中部ファーマーズマーケットと沖縄市社会福祉協議会が主体となり、市内のこども支援団体の活動を支援する「沖縄市こども支援団体応援プロジェクト」のスタートセレモニーが、ちゃんぶるー市場で行われました。

農家の協力を得て、週2回、新鮮な野菜等をこども支援団体に寄付し、そこに通うこども達の健やかな成長を応援するプロジェクトです。



11/23

世界の渡り鳥 泡瀬人工島「潮乃森」にも飛来

整備が進められている泡瀬人工島「潮乃森」と比屋根湿地で野鳥観察会・環境学習会を実施しました。

今回参加したのは、越来中学校の生徒等17人で、教室で泡瀬干潟に飛来する野鳥の生態等を学習し、比屋根湿地と人工島で渡り鳥の様子を観察し、地域の自然環境について学びました。

野鳥観察会は、人工島完成後の運営等を見据えた試験運用として実施しています。



12/8

みんなの力で、環境保全

比屋根湿地や泡瀬海岸の良好な環境を維持・保全するため、清掃活動が行われました。

沖縄市と沖縄市東部海浜開発推進協議会の共催で実施したもので、自治会などの市民団体、企業やNPOなどの法人団体、沖縄総合事務局や沖縄県市の職員など277人が参加し、湿地内や海岸沿い、歩道などの草木の伐採やゴミの収集を行いました。



銀天街へ行こう!!

～沖縄市銀天街地域にある飲食業 店舗等をご紹介します～



Cafe Noor

住所：照屋 1-14-16

営業時間：15:00～20:00
不定休

今回紹介する6件目のお店は2018年3月にオープンした「Cafe Noor (ノア)」です。

お洒落な店内は、時間を忘れるほどの居心地の良さ。

パリパリの皮に包まれたタコスは何個でも食べられる美味しさです!

また、肉汁たっぷりポリューム満点なハンバーガーの袋には、銀天街のロゴが描かれており、店主の銀天街への愛が伝わります。

最後の一品は、沖縄まぜそば。銀天街にある宮城製麺所から仕入れた、出来立ての麺で作るまぜそばは、ゴマ油の香りと豆板醤の程よい辛さがグッとマッチな仕上がりで、ペロリと完食できるおいしさです。

銀天街へ行く際は、是非ともお立ち寄りいただき、くつろいでいって下さい♪

商工振興課 内線(3225)



まちの話題・市民の活躍

12/1

体験しよう
つながる幸せ
学ぶ楽しさ

今回で26回目となる沖縄市生涯学習フェスティバル2019を沖縄市体育館等で開催しました。

比屋根小学校音楽部の吹奏楽でスタートし、三線や舞踊、詩吟等の日本の芸能、フラダンスやフォークダンス等のダンス、ハーモニカやギター等の演奏、健康体操や太極拳など、約50組がステージに登場しました。

手作り・体験・展示コーナーでは、正月壁かざり等の小物づくりや防災グッズ作り、将棋や茶道、カローリングや積木遊び等が体験できる37のブースが設けられ、こどもから大人まで、楽しみながらチャレンジしました。



▲将棋体験



▲防災グッズを作ろう



▲健康体操

11/19

自分の経験をとおして意見を発表

高齢者が持つ知恵、豊かな経験等をとおして意見・体験を発表することで意識の向上を図り、高齢社会及び地域福祉の発展に寄与することを目的とした「第13回沖縄市老人クラブ連合会意見発表大会」が、沖縄市老人福祉センターかりゆし園で開催されました。

市内各地区の代表者3名が登壇し、東部地区代表で高原老人クラブの桑江良憲さんが「趣味に生きるわが人生」と題して、趣味を生かし日常生活を充実させていることや生きがいを持つ事の大切さ、素晴らしさ等を紹介し、最優秀賞に選ばれました。



12/6

華やかな踊りで舞台を彩る

生きがいづくりと健康づくり、仲間活動の一つとして取り組んでいるレクリエーション活動の日頃の成果を披露し、かりゆしシニアクラブの会員間の交流を促進する第45回レクリエーション大会が、沖縄市民会で開催されました。

各老人クラブの皆さんが、揃いの華やかな衣装を着ての踊りを中心に、寸劇やフォークダンス、大正琴など、地域の特色なども活かした32の演目が次々と披露され、500人以上の出演者を含む約1000人が来場しました。



今月の身近な集い処

市内各地の、仲間と集まって楽しく活動している場所を紹介いたします。

今月は、美里公民館で行なわれている「美里寿会」の活動をご紹介します。

美里寿会では、月3回の舞踊の活動以外に、いきいき百歳体操、ふるさと体操を取り入れています。参加者の中には、自分でタクシーを利用して通っている方もいます。休憩時は、お茶や手作りのおやつを食べながら楽しく交流しています。

参加者は「ここ来ると元気になるよ」、「体操はゆっくりだけど効いているよ」と楽しそうに話します。皆さんも一緒にいかがですか？



活動日時：第1・2・3火曜日 10時～
参加費：無料
場 所：美里公民館（美里2-19-13）
問合せ：介護保険課（内線3143）

12/8

助ける人になるう



大災害への備えとして、泡瀬第一自主防災組織による災害時避難行動要配慮者避難誘導訓練が行われました。

訓練に参加したのは、沖縄東中学校の生徒約60人と先生、沖縄市消防団、NPO法人防災サポート沖縄、福社協会ピアサポートセンターつなぎ、市ちゅういしい課等で、合計約80人。視覚障害、内部障害、肢体不自由のある障がい者の方も参加しました。

訓練の前には、障がい者の方から、車いすの押し方、声掛け等のサポートの仕方などについて学びました。

訓練では、3チームに分かれ、車いすを押ししたり、腕を引いたりしながら、泡瀬第一公民館から海抜約27.6mの高台にある遍照寺沖縄市桃園霊苑かなさまで歩きました。

参加した中学生からは「地震があった時には、避難することが難しい人を助けてあげたい」等の感想が聞かれました。

11/22

物語や自分の意見を英語で発表

英語のコミュニケーション能力の育成や表現力、発表力を伸ばすこと等を目的とした、沖縄市中学生英語ストーリー並びにスピーチコンテストが、沖縄市民小劇場あしびなーで開催されました。

市内の中学校の各学年から出場し、比嘉亜斗斗さん（美東中1年）、宮本海綺りーさん（山内中2年）、町田幸さん（安慶田中3年）が最優秀賞を受賞しました。



11/30

こども達の夢を育てるお手伝い

若年者向け雇用対策事業の一つである市内の小中学生を対象とした「沖縄市おしごとワクワク体験」を、沖縄市農民研修センターで開催しました。

ハンドマッサージ、プログラミング、ブーケ作り等の12の体験ブースが設置され、訪れた336人の小中学生は、実際にその仕事に就いている方から説明を受け、楽しみながら体験していました。



11/28

親子でいきいき輝こう！

「音楽であそぼう」をテーマとした「令和元年度いきいき子育て交流会」が、沖縄市武道館で行われ、保護者80人、乳幼児88人計168人が参加しました。講師の「なかよしnote」が奏でる音楽に乗せ、歌ったり、手を叩いたり、お尻を振ったり、見つめ合ったりなど、親子で視覚、聴覚、触覚等の多感覚に対する刺激を楽しみながら行い、他の参加者との親睦も深めました。



11/30

顔、体、心までも美しく

沖縄市男女共同参画センターで、顔ヨガインストラクターの森あゆみ氏を講師に迎え、『きらめきフェスタ2019』自分らしいライフスタイルを確立するために「ストレス社会を乗り越えて」と題した講演会を開催し、約110人の市民が来場しました。

顔面麻痺を顔ヨガによって克服した森氏の実体験等が話された後、参加者全員で顔ヨガを行いました。

